

平成29年度 事業報告

I 事業運営

1 交通遺児育成基金事業

(1) 加入等の状況

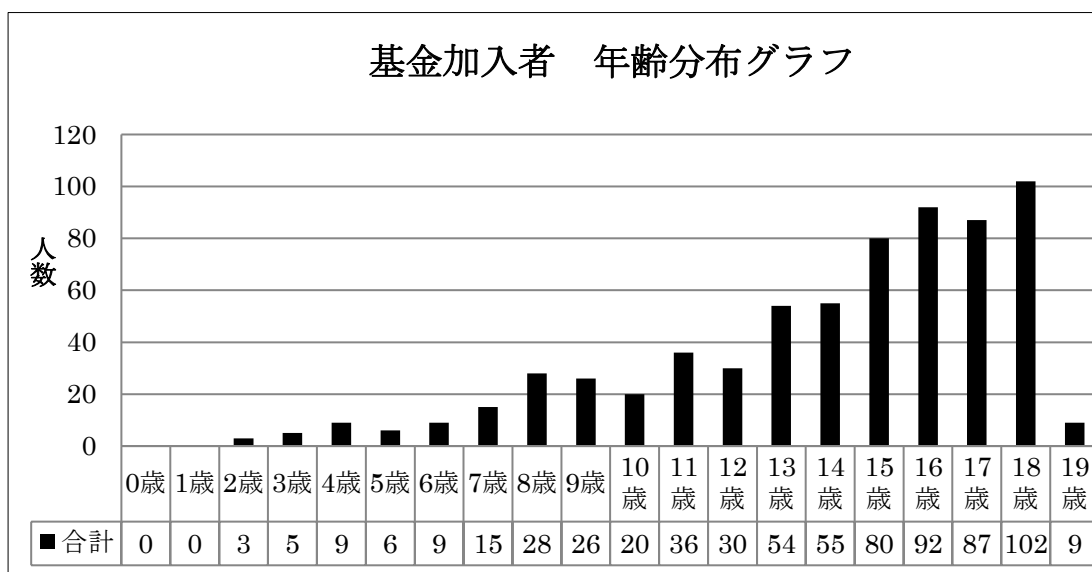
平成29年度の交通遺児育成基金事業への新規加入者は39名であった。給付完了者は100名、脱退者はなし。この結果、平成30年3月末現在の加入遺児数は666名となった。

【最近の加入状況等】

(単位：人)

区 分	新規加入数	脱退・死亡数	給付完了数	年度末の 加入遺児数
平成25年度	51	2	131	1,005
平成26年度	56	1	140	920
平成27年度	52	2	134	836
平成28年度	43	6	146	727
平成29年度	39	0	100	666
昭和55年度 からの累計	3,783	152	2,965	—

基金加入者 年齢分布グラフ



(2) 加入促進のための広報

関係機関・法人に対して、広報誌「スマイルズ」(年4回)を送付するほか、適宜パンフレットを送付し、育成基金事業の紹介にご協力いただいた。

併せて、新聞(業界紙など)、雑誌(地方自治体発行のものなど)への当基金の活動内容等を掲載するなど広報活動も行った。

加入者に対しては、基金制度を「どうやって知りましたか」、「不安がありましたか」等を質問する「加入時アンケート」を実施しており、その中で「どうやって知りましたか(経緯)」の具体的な方法等については、以下のとおりである。

【平成29年度 アンケート結果】

～ 育成基金制度をどうやって知りましたか(複数回答あり) ～

・警察(交通安全協会)・・・・・・・・・・・・・・・・	8名
・身近な人・・・・・・・・・・・・・・・・	5名
・自治体・・・・・・・・・・・・・・・・	4名
・NASVA [ナスバ:(独)自動車事故対策機構]・・・	3名
・基金のホームページ・・・・・・・・	2名
・その他・・・・・・・・	1名

また、アンケートの回答には、「大きなお金を振り込むので最初はとも不安だった」、「信頼できる団体なのかいろいろ調べてみた」などのコメントがあり、本制度を知ってもらうためだけでなく、本制度に対する信頼を得るためにも、関係機関・法人の果たす役割は大きい。これら関係機関・法人に引き続きご協力をいただきながら、当法人としてなお一層広報・周知活動に努める必要がある。

(3) 育成給付金の支給状況

平成29年度の育成給付金の合計支給額は、496,766千円で、前年度より63,238千円減少した。

最近の推移は、次表のとおりである。

年度別	総支給額（千円）	1名1回当たりの支給額 [3ヶ月分]（円）
平成25年度	745,428	178,517
平成26年度	682,160	179,107
平成27年度	627,506	180,076
平成28年度	560,004	180,162
平成29年度	496,766	179,792

2 交通遺児等に対する支援給付事業等

(1) 生計困窮家庭に対する支援給付事業

交通遺児家庭または交通重度後遺障害者の子弟の家庭（以下「自動車事故被害者家庭」という。）のうち、生計困窮家庭に対する支援事業として、越年資金、入学支度金、進学等支援金等を給付している。

平成29年度は、引き続き、自動車事故対策機構の各支所の協力を得て、これら支援給付事業の重度後遺障害者家庭への重点的な案内を実施した。

ア 越年資金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭に対して、越年資金として子弟1人当たり、2万5千円を12月に支給している。平成29年度は、当該家庭の439世帯、667名の子弟に16,675千円を支給した。

【越年資金の地域別支給実績】

地域別	世帯数	子弟数	支給額（千円）
札幌	23 (6)	32 (7)	800
仙台	44 (7)	63 (12)	1,575
新潟	20 (7)	34 (13)	850
東京	77 (29)	112 (46)	2,800
名古屋	70 (27)	107 (42)	2,675
大阪	79 (30)	118 (49)	2,950

広島	34 (22)	52 (35)	1,300
高松	19 (12)	31 (17)	775
福岡	73 (34)	118 (53)	2,950
合計	439 (174)	667 (274)	16,675

※1 地域別の地域については、NASVA [ナスバ] の主管支所所在地。

※2 ()内は重度後遺障害者家庭世帯数及び子弟数。

[参考] 平成27年度 672名 (うち重度後遺障害者の子弟 260名、39%)

平成28年度 659名 (うち重度後遺障害者の子弟 261名、40%)

イ 入学支度金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭の子弟が小学校又は中学校に入学する際に、入学支度金として子弟1人当たり5万円を支給している。平成29年度は当該家庭の61世帯、64名の子弟に対し3,200千円を支給した。

【入学支度金の地域別支給実績】

地域別	世帯数	子弟数			支給額 (千円)
		小学校	中学校	合計	
札幌	4 (2)	1	3 (2)	4 (2)	200
仙台	6 (2)	3 (2)	3	6 (2)	300
新潟	6 (3)	0	7 (4)	7 (4)	350
東京	10 (7)	5 (3)	6 (4)	11 (7)	550
名古屋	8 (5)	4 (3)	4 (2)	8 (5)	400
大阪	16 (11)	5 (3)	12 (9)	17 (12)	850
広島	1 (1)	1 (1)	0	1 (1)	50
高松	4 (4)	1 (1)	3 (3)	4 (4)	200
福岡	6 (2)	4 (2)	2	6 (2)	300
合計	61 (37)	24 (15)	40 (24)	64 (39)	3,200

※1 地域別の地域については、NASVA [ナスバ] の主管支所所在地。

※2 ()内は重度後遺障害者家庭世帯数及び子弟数。

[参考] 平成27年度 74名 (うち重度後遺障害者の子弟 41名、55%)

平成28年度 72名 (うち重度後遺障害者の子弟 44名、61%)

ウ 進学等支援金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭の子弟が義務教育を終了して上級学校に進学又は直ちに就職する場合に、進学等支援金として子

弟1人当たり5万円を支給している。平成29年度は当該家庭の71世帯、72名の子弟に対し3,600千円を支給した。

【進学等支援金の地域別支給実績】

地域別	世帯数	進学子弟数	支給額 (千円)
札幌	5 (2)	5 (2)	250
仙台	11 (3)	11 (3)	550
新潟	8 (4)	8 (4)	400
東京	5 (4)	6 (5)	300
名古屋	10 (6)	10 (6)	500
大阪	11 (2)	11 (2)	550
広島	3 (3)	3 (3)	150
高松	5 (3)	5 (3)	250
福岡	13 (4)	13 (4)	650
合計	71 (31)	72 (32)	3,600

※1 地域別の地域については、NASVA [ナスバ] の主管支所所在地。

※2 ()内は重度後遺障害者家庭世帯数及び子弟数。

[参考] 平成27年度 72名 (うち重度後遺障害者の子弟29名、40%)
平成28年度 68名 (うち重度後遺障害者の子弟33名、48%)

エ 緊急時見舞金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭の子弟若しくはその扶養者等が死亡若しくは重度の後遺障害を負った場合、又は災害により家屋等に甚大な被害を受けた場合に、緊急時見舞金として10万円又は5万円を支給している。

平成29年度は、4家庭(扶養者の死亡4件)に対して、合計400千円を支給した。

オ 図書カードの贈呈

入学支度金、進学等支援金を支給する際に、激励の気持ちを込めて、図書カード5千円分を贈った。

(2) 育成基金加入遺児に対する給付事業

ア 橋本給付金及び完了給付金の支給

平成29年度は、橋本給付金を114名に対して合計5,700千円、完了給付金を100名に対して合計3,000千円、それぞれ支給した。

【※ 橋本給付金：小学校・中学校・高校入学時に1名当たり5万円を支給】
【※ 完了給付金：育成給付金の支給完了時に1名当たり3万円を支給】

なお、育成基金加入遺児については、入学支度金及び進学等支援金の給付対象としていない（橋本給付金との併給はしない）。

イ 図書カードの贈呈

育成基金事業への加入時、橋本給付金及び完了給付金の給付時に、激励の気持ちを込めて、図書カード5千円分を贈った。

(3) SDD基金事業

SDD (Stop Drunk Driving) とは、飲酒運転の撲滅を目指して、FM大阪が主唱し、多くの企業・団体の協力の下に、平成19年から始まったキャンペーン・プロジェクトである。

平成20年以降、毎年、飲酒運転の撲滅を呼び掛ける様々な行事の集大成として「LIVE SDD」が大阪城ホールで開催されており、その際の募金（入場料相当）を当法人に寄付していただき、その半分を当法人の実施する交通遺児等支援事業に、残りの半分を交通遺児の「音楽の夢」を支援する事業を実施する財源とするため「SDD基金」として積み立ててきた。

この基金を基に、平成28年度からSDD音楽奨学生制度を発足させた。

具体的には、音楽大学等又は高校音楽科に進学する基金事業加入遺児に対して、SDD基金から在学中SDD音楽奨学金を給付するものである。

平成29年度は、外部有識者を含めた奨学生選考委員会で審査した結果、2名を第2回奨学生として選定した（給付は30年度から）。

3 交通遺児等に対する精神的支援事業

(1) 交通遺児等の激励及び援助活動

ア 広報誌の発行

育成基金事業加入遺児及びそのご家族と当基金との意思疎通を図る季刊広報誌「スマイルズ・基金だより」等を発行・配付した。

イ カレンダー等の配付

育成基金加入遺児に、学習素材を兼ねたオリジナル卓上カレンダーを配付するとともに、夏休み・春休みの年2回、希望者に映画鑑賞券をペア（交通遺児及び保護者）で贈った。

また、基金加入者以外の支援給付対象者のうち希望者に対しても、夏休みの映画鑑賞券をペア（交通遺児等及び保護者）で贈った。

(2) 自動車事故被害者援護活動に対する協力事業

独立行政法人自動車事故対策機構〔NASVA（ナスバ）〕が行っている交通遺児「友の会の集い」及び「友の会写真コンテスト」等の実施に必要な経費の一部として、16,506千円を支出した。

平成29年度 交通遺児友の会の集い参加人数等実績表

支 所	行 事 内 容	実施日	参加 世帯	参加 人数
札幌 旭川	ニセコでラフティング&バームクーヘン作り体験	7/29~30	5	17
函館 釧路	ルスツと伊達時代村の旅 十勝川ラフティング体験ツアー	7/29~30 7/30	3 1	14 6
仙台 山形	リステル猪苗代でレジャー体験、果樹園で桃狩り	7/22~23	8	32
福島 岩手	裏磐梯カナディアンカヌー・ナイトウォーク体験と喜多方散策 じえじえじえ IWATE の自然体験&復興支援	7/22~23 8/5~6	6 4	24 15
青森 秋田	『岩手・自然とふれあう旅』遠野ふるさと村、滝観洞、鯨と海の科学館 『A JAPAN Dahlia TOUR2017』雄和観光交流館散策、美術館鑑賞、映画鑑賞	7/22~23 8/6	3 1	13 6
新潟 長野	おぐに森林公園でバーベキュー 『新潟 海の旅』	7/17 7/22~23	5 3	19 12
石川 富山	歴史と文化と芸術を体験しよう!!信州松本・安曇野の旅	7/22~23	2	30
東京 神奈川	ラフティング&那須塩原温泉 小田原でかまぼこ作り体験	7/16~17 7/8	9 5	33 19
千葉 埼玉	リニアモーターカー見学・富士急ハイランド 東京探検物語(食品サンプル作成、ラチパ作り、そなア見学、お台場散策)	11/3~4 7/22	7 7	17 21
茨城 群馬	北陸新幹線で行く金沢散策の旅 お母様方バスラウンジ交流会&東京ディズニーでの遊びまくり体験会	7/8~9 8/26	3 8	14 25
栃木 山梨	長瀬ライン下り&SL 秩父鉄道の旅 東京ディズニーリゾート、東京ディズニーランド	7/22 11/11	5 4	22 11
名古屋 静岡	富士急ハイランドとサファリパーク 肉まん・餃子づくり体験と横浜めぐりの旅	7/1~7/2 8/5	18 8	58 25
岐阜 三重	欲張り企画 パン作りとレゴランド メーカーズピアとレゴランド	7/9 7/22	10 6	29 14
福井 大阪	新そば そば打ち体験と昼食会 焼き物・自然体験と長浜散策	11/4 7/22~23	2 11	10 32
京都 兵庫	伊勢神宮参拝、周辺散策、真珠出し体験 淡路島牧場・イングランドの丘と中野うどん学校	7/29~30 7/29~30	3 5	13 19
滋賀 奈良	食品サンプル作り体験と須磨海浜水族館見学 『伊勢・鳥羽めぐり』(シーキャック・真珠取りだし体験・鳥羽水族館見学)	7/22~23 8/5~6	7 1	23 6
和歌山 広島	安芸の宮島(世界文化遺産厳島神社)と広島市平和学習 古代の神々と縁結び~神話のふるさと・島根県	7/29~30 7/22~23	10 3	34 8
鳥取 岡山	城崎マリワールド&出石絵付体験に夢中 姫路セントラルパークへ行こう!	7/22~23 8/5	3 4	10 14
山口 高松	コンペイトウ手作り体験と水族館うみたまご オービィ大阪で大自然を感じて好奇心を育もう	7/29~30 7/30	3 4	12 21
徳島 愛媛	岡山サウスブレッジぶどう狩り体験・倉敷・鷺羽山ハイランド 岡山サウスブレッジぶどう狩り体験・倉敷・鷺羽山ハイランド	8/20~21 8/20	1 2	7 10
高知 福岡	カツオのたたき作り体験とホエールウォッチング 宇宙体験!ぶどう狩り!佐賀日帰りの旅	8/20 7/22	2 8	10 28
佐賀 長崎	別府・城島パーク 別府・竹細工体験 城島高原パーク	8/3~4 7/27~28	2 4	11 15
熊本 大分	イルカウォッチングと世界遺産の旅 『今年の夏はイルカと泳ごう~佐伯・津久見』	7/22 8/27	7 4	32 16
宮崎 鹿児島	熊本の復興を応援しよう~キャンドル作り体験~ 球磨川&鍾乳洞で自然が作り出す涼を満喫する旅	7/22~23 10/9	3 2	11 9
沖縄	感動体験テーマパークむら咲むらへ~乗馬・セグウェイ体験~	7/22	3	12
合 計	49支所(うち、1泊2日で開催27支所)		223	829

平成29年度 友の会写真コンテスト実施状況

応募総数 各賞	小学生			中学生	高校生	計	ファミリ ー
	低学年	中学年	高学年				
応募数	50	35	42	91	90	308	248
最優秀賞			1			1	
優秀賞	1	1		1	1	4	
金賞	1	1	1	1	1	5	
銀賞	3	3	3	3	3	15	
銅賞	10	10	10	10	10	50	
佳作	18	10	13	41	38	120	
入賞・入選計	33	25	28	56	53	195	10

Ⅱ 財 務

1 賛助会費

賛助会員制の下で、当法人の目的に賛同する多くの団体・企業及び個人から、財政的なご支援を戴き、事業運営の安定化を図っている。

平成29年度は、個人16名、法人37社から合計7,500千円（前年度6,400千円）の賛助会費をいただいた。（賛助会員のご芳名は、別表1のとおり。）

賛助会員各位には、季刊広報誌「スマイルズ」と年1回発行する「交通遺児等育成基金レポート—ご支援くださる皆様への御礼と活動報告」を送付している。

2 寄付金

平成29年度は、法人・団体及び個人から、合計199,347千円（前年度121,495千円）の寄付金をいただいた。（寄付者のご芳名は、別表2のとおり。）

寄付者各位には、賛助会員同様、「スマイルズ」と「交通遺児等育成基金レポート」を送付している。

寄付金の維持・増収のために、主に継続寄付者に対し、上記の定期刊行物の送付のほか、寄付者訪問、感謝状贈呈、タイムリーな活動状況報告等により丁寧な対応を心掛けた。

今後に向けては、重度後遺障害者家庭の子弟をはじめとした交通遺児等支援の充実の必要はなお大きいことから、より一層の増収努力が必要と考えている。

3 育成基金事業に係る原資の受け入れ状況

新規加入に伴う交通遺児家庭からの拠出金、政府補助金及び関係民間団体援助金の平成29年度決定額は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成29年度受入額	負担割合
遺児家庭からの拠出金 (新規加入39名分)	193,100	—
政 府 補 助 金	15,203	基金事業総額の1/2
(一社)日本損害保険協会	10,135	政府補助額の2/3
(一社)日本自動車工業会	3,040	政府補助額の1/5
全国共済農業協同組合連合会	1,520	政府補助額の1/10

※ 基金事業費の1/60は当法人の負担。

4 正味財産の増減、資産の状況

一般正味財産の評価損益等調整前当期経常増減額は△2,943千円(前年度△29,782千円)であった。

平成30年3月末の資産の状態は以下のとおりである。

(1) 給付責任準備資産

期末現在の加入者666名が満19歳になるまで育成給付金を支給するために必要な額として、2,125,065千円を給付責任準備資産として積み立てている。

給付責任準備資産の資産構成

(単位：千円 下段は、構成比%)

預 金	日本国債	政府関係機関債	社 債	円建外債	仕組債	合 計
162,556 (7.7)	326,176 (15.4)	540,423 (25.4)	721,290 (33.9)	164,512 (7.7)	210,108 (9.9)	2,125,065 (100)

(注) 預金には金銭信託100,000千円を含む。

(2) 法人全体の財務状況

① 資産及び負債の状況

平成30年3月末における資産及び負債の状況は、次のとおりである。

資産合計 4,666,521 千円 (4,837,452 千円)

負債合計 2,255,805 千円 (2,494,026 千円)

正味財産 2,410,716 千円 (2,343,426 千円)

※ () 内は、平成29年3月末の値。

② 資産構成

平成30年3月末現在の法人全体の資産の構成は、次表のとおりである。

基本財産及び特定資産の資産構成

(単位:千円 下段は、構成比%)

預 金	日本国債	地方債	政府関係 機関債	社 債	円建外債	仕組債	E T F	合 計
862,468	675,601	118,160	876,356	1,280,677	306,600	483,318	9,508	4,612,688
(18.7)	(14.6)	(2.6)	(19.0)	(27.8)	(6.6)	(10.5)	(0.2)	(100)

(注) 預金には金銭信託 110,061 千円を含む。

Ⅲ 参 考（組織及び会議）

1 組織（平成30年3月31日現在）

（1）評 議 員（敬称略）

青 山 佳 世	フリーアナウンサー
安 藤 豊 明	損害保険料率算出機構常務理事
岡 部 展 芳	（公社）全国通運連盟専務理事
上 田 貴 之	（一財）東京都営交通協力会専務理事
神 谷 俊 広	（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会理事長
久 米 正 一	（一社）日本自動車連盟専務理事
木 場 宣 行	（一社）日本自動車整備振興会連合会専務理事
鈴 木 毅	（一社）日本損害保険協会常務理事
津 川 哲 郎	弁護士
和 辻 健 二	（一社）日本自動車工業会常務理事
平 井 敏 文	（一社）日本自動車販売協会連合会副会長
廻 洋 子	敬愛大学国際学部特任教授
安 原 敬 裕	（一財）関東陸運振興センター理事長

(2) 役員 (敬称略)

会長 (代表理事)	小幡政人	(公財)日本海事センター会長
副会長 (代表理事)	扇澤昭宏	(独)自動車事故対策機構理事
専務理事 (業務執行理事)	内田啓二	常勤
常務理事 (業務執行理事)	手島和幸	常勤
理事	浦川道太郎	(公財)交通事故紛争処理センター理事
理事	大嶋芳樹	(公財)日弁連交通事故相談センター副理事長
理事	大山憲司	(一財)全日本交通安全協会専務理事
理事	菅原力	全国町村会総務部長
理事	山崎薫	(公社)全日本トラック協会常務理事
理事	高橋英俊	全国市長会経済部長
理事	中嶋邦夫	(公社)日本バス協会常務理事
監事	高井久彰	全国共済農業協同組合連合会地域活動支援部長
監事	西脇尚澄	(一財)自動車検査登録情報協会専務理事

注：常勤理事2名を除き、役員・評議員は非常勤・無報酬。

(3) 事務局

常勤職員4名 (事務局長は常務理事が兼務)

基金グループ2名 援護グループ2名

[所在地] 東京都千代田区麴町4-5 海事センタービル7階

2 会議（理事会、評議員会及びその他の会議）

(1) 評議員会

- ① 第20回 評議員会（定時）平成29年6月23日
 - ア) 平成28年度事業報告
 - イ) 平成28年度決算
 - ウ) 平成28年度資産運用結果（報告）
 - エ) 橋本給付金等支給規程の一部改正（報告）
 - オ) 理事、監事、評議員の選任（再任）
- ② 第21回 評議員会（みなし決議）平成29年11月20日
 - ア) 理事の選任（山崎 薫 氏）
 - イ) 評議員の選任（上田 貴之 氏）
- ③ 第22回評議員会（みなし決議）平成30年2月14日
 - ・ 理事の選任（扇澤 昭宏 氏）
- ④ 第23回評議員会（みなし決議）平成30年3月12日
 - ア) 平成30年度事業計画及び予算（案）
 - イ) 資産運用状況等について（報告）
 - ウ) 平成30年度資産運用計画（案）
 - エ) SDD奨学金支給規程の一部改正（報告）

(2) 理事会

- ① 第27回 理事会（通常）平成29年6月5日
 - ア) 平成28年度事業報告及び決算
 - イ) 平成28年度資産運用結果
 - ウ) 橋本給付金等支給規程の一部改正
 - エ) 定時評議員会（第20回）の開催
- ② 第28回 理事会（みなし決議）平成29年11月2日
 - ・評議員会（第21回 みなし決議）の招集
- ③ 第29回 理事会（みなし決議）平成30年2月1日
 - ア) 副会長の選定（扇澤 昭宏氏）
 - イ) 評議員会（第22回みなし決議）の招集
- ④ 第30回 理事会（みなし決議）平成30年2月15日
 - ・評議員会（第23回 みなし決議）の招集
- ⑤ 第31回 理事会（通常）平成30年3月12日
 - ア) 平成30年度事業計画及び予算（案）について
 - イ) 資産運用の状況等について（報告）
 - ウ) 平成30年度資産運用計画（案）について
 - エ) SDD奨学金支給規程の一部改正
 - オ) 扇澤副会長の代表理事選定について
- ⑥ 第32回 理事会（みなし決議）平成30年3月30日
 - ・役員選考委員会へ常勤理事候補者を推薦する件

(3) その他の会議

① 資産運用検討委員会

ア) 第15回 資産運用検討委員会 平成29年5月30日

- a) 平成28年度 資産運用報告
- b) 平成28年度 資産運用結果に対する評価
- c) 有識者提出資料
 - ・アクティブパフォーマンスの実際 (菅原委員)
 - ・運用方針検討のための参考資料～昨今の環境を踏まえた考察 (村上委員)

イ) 第16回 資産運用検討委員会 平成30年1月23日

- a) 平成30年度 資産運用計画案の策定について (諮問)
- b) 平成29年度の資産の運用状況について
- c) 平成30年度 資産運用計画骨子案について

② SDD音楽奨学生選考委員会

ア) 第2回 選考委員会 平成29年12月9日

- a) SDD音楽奨学生の選考 (候補者2名)